

6 学習指導計画及び評価基準

月	単元と項目	学習の目標 (ねらい) 及び内容	評価規準			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用 の技能	知識・理解
4	第II部 現代世界の系統地理的考察 4章 生活文化、民族・宗教 1節 世界の衣食住 1 世界の衣食住の地域的差異 2 衣食住の世界的な画一化 3 日本の衣食住	世界の衣食住について、地域的差異があることに気づくとともに、世界的に画一化が進む現状を考察する。また、日本の衣食住の特徴やその変化を考察する。	○世界の衣食住について、地域的差異が生じていることに対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○世界の衣食住について、さまざまな衣食住の地域的差異の背景、世界と日本の衣食住の変化と世界的な画一化の要因を、自然環境や社会環境の変化などを踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○世界の衣食住の写真や分布図、巨大企業の海外進出のデータなどの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、生活文化の地域的差異や画一化の様子について読み取ることができる。	○衣食住の分布や地域的差異の特徴、画一化の進展状況などを理解し、その知識を身につけている。
	2節 民族と宗教 1 世界の民族・言語 2 世界の宗教	民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて考察する。	○民族と宗教について、その分布や人々の生活との関係に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○民族と宗教について、民族とは何かを言語とのかかわりから、宗教とは何かを生活とのかかわりから、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○民族と言語や、宗教と生活のかかわりに関する写真などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、民族・宗教の分布や特徴、生活とのかかわりについて読み取ることができる。	○世界の言語分布や宗教の特徴、生活とのかかわりなどを理解し、その知識を身につけている。
	3節 現代世界の国家	現代世界の国家について、国家と領域・国境のあり方、国家と主権の考え方、さまざまな国家と国家間の関係の課題を考察する。	○現代世界の国家について、その領域や国境、国家形態そのものの違いに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○現代世界の国家について、国家と領域・国境のあり方、国家と主権の考え方、さまざまな国家と国家間の関係の課題を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○領域・国境やさまざまな国家に関するデータなどの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、現代世界の国家の特徴について読み取ることができる。	○国境と領域のきまり、さまざまな国家の分類などを理解し、その知識を身につけている。
	4節 民族・領土問題 1 世界の民族・領土問題 2 多様な原因をもつ民族・領土問題 3 共生に向けた取り組み 4 日本の領土をめぐる問題と外国人との共生	民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、そのおもな原因と共生に向けた取り組みを考察する。また、日本の領土をめぐる問題や日本国内で暮らす外国人との共生の課題を考察する。	○民族・領土問題について、そのおもな原因と共生に向けた取り組みに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○民族・領土問題について、世界各地や日本の事例を取り上げ、問題が起こる背景や、これを解決して民族が共生するための方策を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○世界各地で起こっている民族・宗教や領土に関する紛争のデータや事例などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、民族・領土問題における原因の相違点などについて読み取ることができる。	○世界各地の民族・宗教や領土に関する問題や多文化共生の取り組みなどを理解し、その知識を身につけている。

6	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察	1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分とは何か	地域区分の目的と意義を理解し、有用性に気づく。	○地域区分の目的や意義をふまえて、その有用性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地域区分の目的や意義、有用性について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○地域区分の目的や意義をふまえてさまざまな地域区分を示した図から有用な情報を適切に選択し、読み取ることができる。	○地域区分の目的や意義、方法、有用性を理解し、その知識を身につけている。
6		2章 現代世界の諸地域 1節 地域の考察方法	国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。	○地域の考察方法について、地誌的に考察する三つの方法に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○地域の考察方法について、三つの方法それぞれの特徴や相違点を考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○地域区分と考察方法を示した資料から、有用な情報を適切に選択し、地誌の考察方法の特徴について読み取ることができる。	○多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する方法、特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する方法、対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法の三つの方法を理解し、その知識を身につけている。
7		2節 東アジア ○変化に富んだ地形と気候 1 中国の歩みと巨大な人口 2 中国の食生活と農業の変化 3 中国の工業化と巨大市場 4 中国の海外進出 ●人や物で緊密に結びつく日本と中国 5 朝鮮半島の歩みと文化 6 韓国の産業の発展と変化 ●相互理解をめざす日本と韓国	東アジアについて、形式的な地域区分にもとづき、自然環境、中国の歴史・文化と巨大な人口、農業、工業、中国の海外進出、朝鮮半島の歴史・文化、韓国の産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	○東アジアについて、中国や朝鮮半島の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	○東アジアについて、日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容、中国の人口増加と経済格差、中国・韓国の経済発展などの地域的特色や地球的課題を、項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。	○東アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、東アジアの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。	○東アジアの自然の特徴、日本との関係を含む中国や朝鮮半島の歴史的背景をふまえた地域の変容、中国の人口増加と経済格差、中国・韓国の経済発展などの地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。

9	<p>3節 東南アジア モンスーンの影響を受ける自然環境 1 東南アジアの歴史と文化・民族 2 東南アジアの農業とその変化 3 ASEANの結成と工業の発展 4 ASEANの変化と課題 ●ますます身近になる東南アジア</p>	<p>東南アジアについて、形式的な地域区分にもとづき、自然環境、歴史と文化・民族、農業、工業、ASEANの変化と課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</p>	<p>○東南アジアについて、東南アジア諸国の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>○東南アジアについて、東南アジア諸国の多様性に富む文化や民族、歴史的背景をふまえた地域の変容、ASEAN諸国にみられる農業の変化や工業の発展、地域格差や都市問題などの地域的特色や地球的課題を、項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○東南アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、東南アジアの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。</p>	<p>○東南アジアの自然の特徴、東南アジア諸国の多様性に富む文化や民族、歴史的背景をふまえた地域の変容、ASEAN諸国にみられる農業の変化や工業の発展、地域格差や都市問題などの地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。</p>
9	<p>4節 南アジア 三つに分けられる地形と モンスーンの影響を受ける気候 1 南アジアの歩みとヒンドゥー教 2 インドの農業と農村の変化 3 発展するインドの産業と変化 ●関係強化が期待される日本とインド</p>	<p>南アジアについて、形式的な地域区分にもとづき、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの産業と生活の変化という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</p>	<p>○南アジアについて、インドを中心とした地域の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>○南アジアについて、インドのヒンドゥー教を背景とした地域の構造と変容、インドの農業と課題、IT産業の発展のしくみなど地域的特色や地球的課題を、項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○南アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、南アジアの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができる。</p>	<p>○南アジアの自然の特徴、インドのヒンドゥー教を背景とした地域の構造と変容、インドの産業と生活の変化などの地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。</p>
10	<p>5節 西アジアと中央アジア 乾燥した大地が広がる二つの地域の自然環境 1 イスラームを中心とした生活文化 2 交易を軸に発達した都市 3 豊かな資源と人々の生活 ●資源と人の交流でつながる日本と西アジア・中央アジア</p>	<p>西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき、自然環境、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</p>	<p>○西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境の地域にみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>○西アジアと中央アジアについて、二つのアジア地域の歴史的背景をふまえた地域の変容、交易を軸に発展した都市の共通性の背景、恵まれた資源と産業の共通性と課題などの地域的特色や地球的課題を、類似的な性格の二つの地域を比較して考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○西アジアと中央アジアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、西アジアと中央アジアの相違点や近年の動向について読み取ることができる。</p>	<p>○西アジアと中央アジアの自然の特徴、二つのアジア地域のイスラームを中心とした生活文化の歴史的背景をふまえた地域の変容、交易を軸に発達した都市や豊かな資源と産業などの共通する地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。</p>

10	<p>6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 赤道を軸に南北で対照的な二つの地域の気候と植生</p> <p>1 歴史的な背景によって形成された</p> <p>多様な文化</p> <p>2 一次産品への依存が強い産業</p> <p>3 人々の生活の変化とほか地域との結びつき</p> <p>●新たな関係を模索する日本とアフリカ</p>	<p>北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分にもとづき、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化とほか地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</p>	<p>○北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化の地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>○北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、歴史的背景をふまえた地域の変容、文化の異質性、一次産品への依存が強い経済構造、生活の変化とほか地域との結びつきなどの地域的特色や地球的課題を、対照的な性格の二つの地域を比較して考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○北アフリカとサハラ以南のアフリカ自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、北アフリカとサハラ以南のアフリカの相違点や近年の動向について読み取ることができ</p>	<p>○北アフリカとサハラ以南のアフリカの自然の特徴、中近東文化と中南アフリカ文化の地域の歴史的背景をふまえた地域の変容、これによって生まれた文化の特徴、一次産品への依存が強い経済構造、生活の変化とほか地域との結びつきなどの地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。</p>
11	<p>7節 ヨーロッパ 高緯度でも温暖な気候と安定した大地</p> <p>1 ヨーロッパの成り立ち</p> <p>2 結びつくヨーロッパ</p> <p>3 ヨーロッパの多様な農業と共通農業政策</p> <p>4 移り変わるヨーロッパの工業</p> <p>5 これからのヨーロッパ</p> <p>●産業と文化で結びつく日本とヨーロッパ</p>	<p>ヨーロッパについて、形式的な地域区分にもとづき、自然環境、歴史、EUの結びつき、農業、工業、今後の動向という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</p>	<p>○ヨーロッパについて、ヨーロッパの各地域の自然・歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>○ヨーロッパについて、産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容、各地域の民族と宗教の課題、EUを中心とした地域の結びつきと農業・工業の変化などの地域的特色や地球的課題を、項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○ヨーロッパの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、ヨーロッパの国々の特徴や近年の動向について読み取ることができ</p>	<p>○ヨーロッパの自然の特徴、産業革命以来の歴史的背景をふまえた地域の変容、各地域の民族と宗教の特徴、EUを中心とした地域の結びつきと農業・工業の変化などの地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。</p>
12	<p>8節 ロシア 広大な国土と多様な自然環境</p> <p>1 ロシアの歴史と社会の変化</p> <p>2 大きく変化したロシアの産業</p> <p>●日本海をはさんだ隣国である日本とロシア</p>	<p>ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき、自然環境、歴史、産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</p>	<p>○ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境の地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>○ロシアについて、かつての社会主義国としての歴史的背景をふまえた地域の変容、社会主義時代からの農業や鉱工業の変容などの地域的特色や地球的課題を、項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○ロシアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、ロシアの特徴や近年の動向について読み取ることができ</p>	<p>○ロシアの自然の特徴、かつての社会主義国としての歴史的背景をふまえた地域の変容、社会主義時代からの農業や鉱工業の変容などの地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。</p>

12	<p>9節 アングロアメリカ 南北と東西で異なる自然環境 1 移民国家としての アメリカ合衆国の発展 2 アメリカ合衆国の人口と都市 3 世界の農業のかぎをにぎる アメリカ合衆国 4 進展する科学技術と産業 5 世界の中のアメリカ合衆国 6 アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダ ●経済・政治の重要なパートナーであるアメリカ合衆国</p>	<p>アングロアメリカについて、文化に着目した地域区分にもとづき、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界に影響力のあるアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</p>	<p>○アングロアメリカについて、移民国家としてのアメリカ合衆国やカナダにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>○アングロアメリカについて、移民が建国した歴史的背景をふまえた地域の変容、人種・民族的課題、大都市問題の実態や背景、農業と工業の変化と課題、世界への経済・文化的影響、アメリカ合衆国とカナダの関係などの地域的特色や地球的課題を、項目ごとに整理して静態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○アングロアメリカの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、アングロアメリカの地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。</p>	<p>○アングロアメリカの自然の特徴、移民が建国した歴史的背景をふまえた地域の変容、これによって生まれた人種・民族の特徴、大都市問題の実態、農業と工業の変化、世界への経済・文化的影響、アメリカ合衆国とカナダの関係などの地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。</p>
1	<p>10節 ラテンアメリカ 南北と標高で異なる自然環境 1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化 2 大土地所有制と農業の変化 3 鉱産資源を基盤とした工業化と 生活の変化 ●歴史的に関係の深い日本とラテンアメリカ</p>	<p>ラテンアメリカについて、文化に着目した地域区分にもとづき、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</p>	<p>○ラテンアメリカについて、スペインやポルトガルの影響を強く受けた地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>○ラテンアメリカについて、歴史的背景をふまえた地域の変容や、複雑な人種・民族構成や大土地所有制による農業の特徴が生まれたしくみ、鉱産資源を基盤とした工業化の進展と格差の課題などの地域的特色や地球的課題を、有機的に関連づけて動態的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○ラテンアメリカの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに、ラテンアメリカの地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。</p>	<p>○ラテンアメリカの自然の特徴、植民地化された歴史的背景をふまえた地域の変容、これによって生まれた人種・民族の特徴や大土地所有制による農業、鉱産資源を基盤とした工業化の進展と経済的格差などの地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。</p>

1	<p>11節 オセアニア 一つの大陸と太平洋の島々 1 オセアニアの 移民の歴史と多文化社会 2 資源を通じて強まるアジア諸国との結びつき 3 アジア諸国に輸出される農畜産物 4 物や人の移動で強まる アジアとの結びつき ●物や人の交流を深める日本とオセアニア</p>	<p>オセアニアについて、形式的な地域区分にもとづき、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。</p>	<p>○オセアニアについて、自然環境や歴史・文化・産業などにみられる地域的特色や地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>○オセアニアについて、歴史的背景をふまえた地域の変容や、民族・文化的特徴が生まれたしくみ、深まるアジアとの関係と課題などの地域的特色や地球的課題を、有機的に関連づけて動的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○オセアニアの自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとにオセアニアの地域的特色や近年の動向について読み取ることができる。</p>	<p>○オセアニアの自然の特徴、オーストラリア、ニュージーランドの移民の歴史的背景をふまえた地域の変容、これによって生まれた民族・文化の特徴、深まるアジアとの関係の実態などの地域的特色や地球的課題を理解し、その知識を身につけている。</p>
2	<p>3章 現代世界と日本 1節 日本が抱える地理的な諸課題 2節 日本が抱える課題の追究 1 テーマを設定する 2 課題を探究する 3 仮説を検証する 4 まとめと発表</p>	<p>現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。</p>	<p>○日本が抱える地理的な諸課題について、関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>○日本が抱える地理的な諸課題について、これまでの歴史的経緯などをふまえ、その解決の方向性や将来像などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。</p>	<p>○現代世界の日本に関する統計などの諸資料を適切に収集し、収集した資料から、有用な情報を適切に選択して、これをもとに日本が抱える地理的な諸課題の原因や今後の展望などが読み取ることができる。</p>	<p>○さまざまな規模の地理的な諸課題を抱える日本の現状と今後重要な取り組みを理解し、その知識を身につけている。</p>